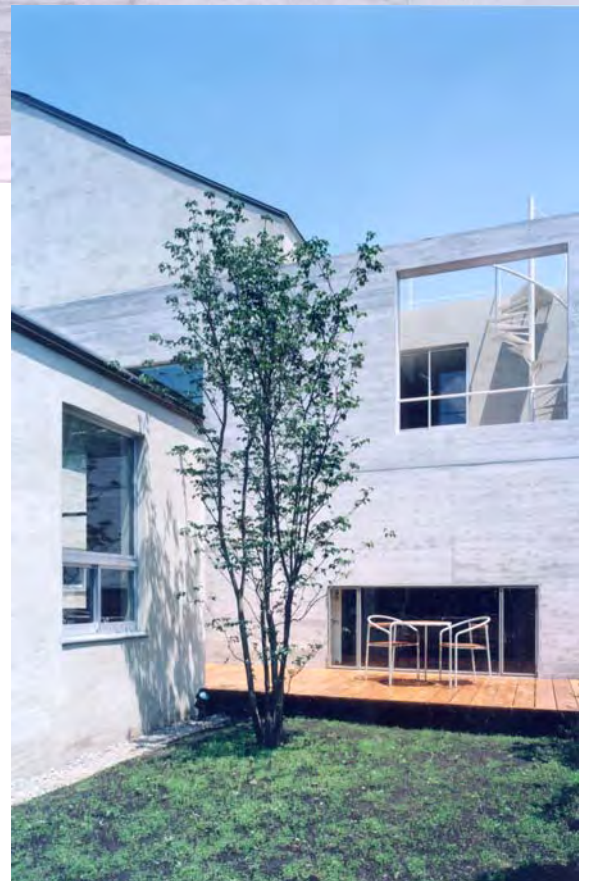


■道路側外観。太陽熱を利用するOMソーラーシステムのための勾配屋根。



■アプローチ廻り。薄い銀色の底はサーフボードのような材料を使用。

- 小平・T邸
- 敷地面積：241.55㎡ (73.06坪)
- 延床面積：157.80㎡ (47.73坪)
- 構造規模：鉄筋コンクリート造 地上2階+屋根裏部屋
- 家族構成：夫婦+子供2人



■庭よりウッドテラス方向を見る。テラスへはキッチン  
の窓から直接、お茶などのサービスができる。



■ 食事室より居間方向を見る。床は25mm厚の無垢サワラ材。壁、天井は特注珪藻土。

内部と外部を貫通するように配置された2つの箱と、それらをまたぐ壁で空間を構成しています。このような構成によってできるスリット状の開口部はプライバシーの高い外観からは想像できないくらい、驚くほど開放的な室内を実現しています。光が差し込み、風が通り抜けれます。さらに居間からプライベートゾーンの廊下までを視覚的に連続させることによって、家族の気配がいつも感じられる空間構成である同時に、外部風景の断片を取り込むことによって、内外部が混ざり合い物理的な空間のサイズを拡張しています。

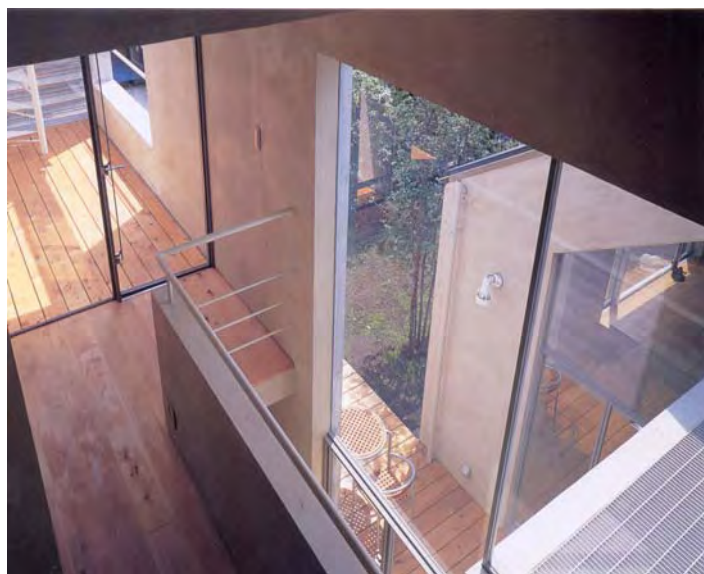
■ 詳しくは説明ページ→ (p34) をご覧下さい。



■ 居間よりキッチン方向を見る。左側の箱には空調機や収納が、右側の箱にはキッチンやトイレ等が納まる。箱の廻りのスリット状の窓からは外部空間や別の内部空間に視線が浸透して、開放的でかつ落ち着いた空間をつくっている。



■ 玄関ホール。吹抜けを通して2階の廊下までが見通せる。



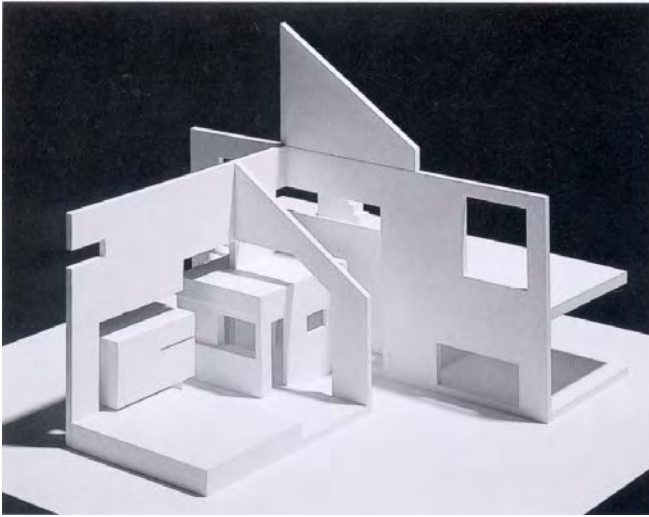
■ 2階廊下より見おろし。1階のウッドテラス越しに食事室が見える。



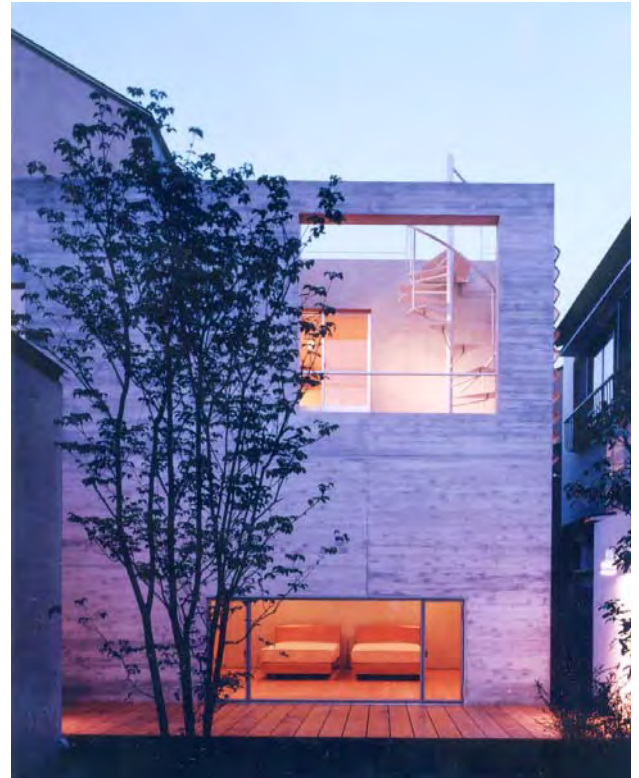
■ 1階廊下より主寝室方向を見る。



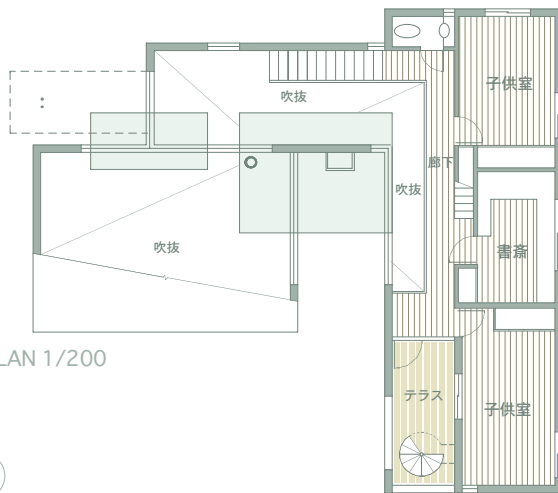
■ 2階廊下。右側の階段は屋根裏収納への階段。



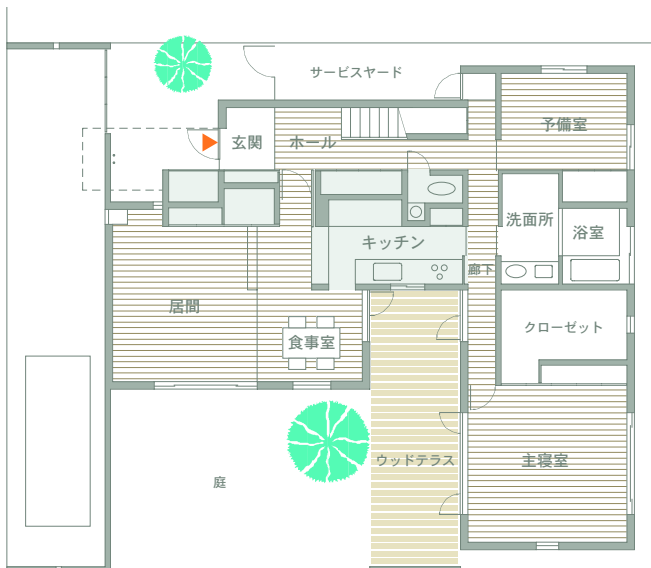
■ コンセプト模型写真



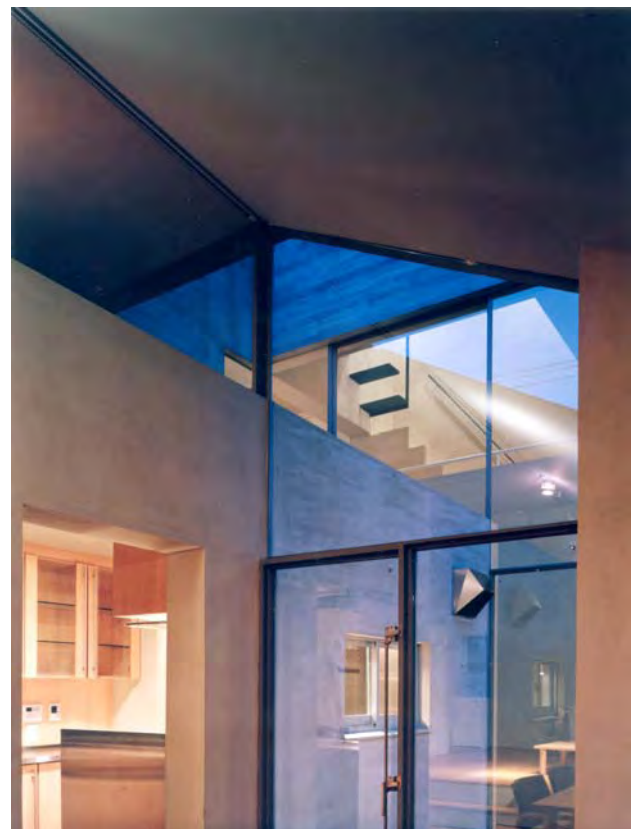
■ 庭より主寝室方向、夕景。外壁は杉板型枠コンクリート打放し。



■ 2F PLAN 1/200



■ 1F PLAN 1/200



■ 食事室より厨房方向を見る。右側の窓からは外部のテラス空間、その奥に1、2階の廊下、さらに3階への階段まで視線が抜ける。

閑静な住宅街にある70坪の敷地は非常に恵まれた環境と言えるかもしれませんが、クライアントからは外部からは見られないプライバシーの高い住環境を要求されました。どのように閉じてどのように開くか、それがこの住宅のテーマであり、単に閉じられた箱のような建物をつくるのではなく、

- 外部風景の断片を取り込み、内部空間の様々なシーンを切り取って、内部と外部がお互いに浸透して混ざり合う・・・
- 重層する空間が奥ゆきを助長し、実際の物理的な部屋のサイズは拡張される・・・
- 家という入れ物の全体を通して家族の気配が感じられ一体感が得られるような・・・

・・・そんな空間を意図しました。

具体的には2つの箱とそれをまたぐ壁で構成されています。キッチンやトイレが入る一つ目の箱は家の中央に配置され、もう一つには空調機や収納が納められています。それぞれの箱は内部と外部を繋ぐように配置されて、室内にも屋外にも顔を出します。さらに箱とそれをまたぐ壁の間にはスリット状の開口部を設けて、外部空間や別の内部空間が垣間見えます。つまり箱が『内部⇄外部』『内部⇄内部』を物理的に繋げているのと同様に、視線という目には見えない線が、縦横無尽に内外部を抜けて貫くような構成になっています。このような手法によって片流れの屋根がのっかる、やや閉鎖的に見える外観からは想像できない開放的かつ落ち着いた空間ができました。

前に住まれていた家では居間に置かれたテレビを常につけていたと言われるクライアントは、この新しい家に住み出してテレビをつけなくなったと言われています。きっと豊かな空間がそうさせているのではないかと・・・

この住宅は太陽熱を暖房と給湯に利用し、家全体を大きな換気装置のようにするOMソーラーシステムを取り入れています。また珪藻土の壁、無垢の床材を使用して、心地よい柔らかい空気が部屋を包んでいます。

